

第3部 基本計画

3

将来像

基本目標

政策

笑顔
幸せ
みんなでつくる
あったかす

あらゆる世代が
幸せを追求する
1. 人が輝くまち

政策① 人間力を
高める人づくり

政策② とともに学び
地域を育む人づくり

あらゆる人の
希望に寄り添う
**2. 幸せな暮らしを
実現するまち**

政策① つながる暮らしづくり

政策② 生涯元気に
活躍する暮らしづくり

あらゆる地域資源を
活かす
**3. 幸せなしごとを
つくるまち**

政策① 可能性あふれる農業を
次代につなぐしごとづくり

政策② 地域の魅力を高める
豊かなしごとづくり

あらゆる安心を
未来へとつなぐ
**4. 幸せな環境を
持続するまち**

政策① 生活の安心を支える
環境づくり

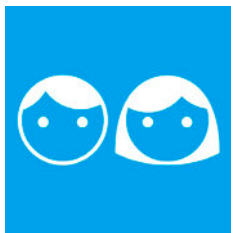
政策② 美しい自然を保全する
環境づくり

あらゆる人が
関係して高めあう
**5. 幸せな交流が
あるまち**

政策① 関係が連なり
大きな輪となる
交流づくり

施 策

→	施策01	地域ぐるみで魅力ある学校教育	P27
→	施策02	感性を育むふるさと共育	P28
→	施策03	いつまでも学び続けることが叶うまち	P29
→	施策04	誰もが気軽にスポーツに親しめる場の提供	P30
→	施策05	郷土の歴史と文化芸術を生かしたまちづくり	P31
→	施策06	希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援	P33
→	施策07	一人ひとりが充実した暮らしを営むまち	P34
→	施策08	生涯元気に活躍できるまち	P35
→	施策09	みんなで主体的に取り組む健康づくり	P36
→	施策10	未来へつなぐ明るい農業	P38
→	施策11	商工業の持続的な発展	P39
→	施策12	資源を生かした観光振興	P40
→	施策13	地場産業の活力の創出	P41
→	施策14	自然環境と都市機能が調和した魅力あるまちの形成	P43
→	施策15	安全で安心なまちづくりの推進	P44
→	施策16	生活インフラの適正な整備と管理	P45
→	施策17	地域の豊かな環境の保全と自然エネルギーの活用	P46
→	施策18	森林の公益的機能の維持増進	P47
→	施策19	住民参加と連携によるまちづくり	P49
→	施策20	戦略的な情報発信	P50
→	施策21	地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出	P51
→	施策22	持続可能な行財政運営	P52



◆基本目標1◆

あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち

政策①

人間力を高める人づくり

地域の未来を担う子どもたちの健やかな育ち（子育て）を支援するため、町内の教育機関、家庭、地域社会が一体となって、子どもたちを育む環境の充実を進めます。また、ふるさとに愛着と誇りを持って成長してもらえるよう、本町ならではの資源を最大限に活かした、特色ある教育を展開します。将来の変化を予測することが困難な時代において、感性豊かに未来を生き抜く人材を育成します。ふるさと共育は子どものみならず、社会人のリカレント教育（学び直し）としても推進します。

こうした子育て支援を強化することで、より多くの子育て世代から、本町で暮らしたいと選ばれるまちとなるように努めます。

■施策 01 地域ぐるみで魅力ある学校教育

■施策 02 感性を育むふるさと共育

政策②

ともに学び地域を育む人づくり

時代とともに、社会的な価値観も変化を見せ、画一的な「成長社会」から多様性の「成熟社会」へと変化が進んでいます。さまざまな発想を組み合わせる新しい答えを生み出す「発想力」「想像力」「実行力」が求められ、学び続けるための機会を創出することが必要です。また、人生のマルチステージ化^{※1}が進み、学びのニーズも対象型から課題解決型の考え方が広まり、社会教育を通した幅広い学びとつながりによる地域課題の解決に向けた取り組みがより重要となってきます。

これまで積み重ねてきた本町の歴史、技術、施設、学びの場といった教育資源を存分に生かしつつ、変わりゆく社会に対応すべく多様な学びとつながりづくりの機会を提供し、教養、芸術、文化、スポーツの振興に取り組みます。また、学びや活動の成果を生かして、地域社会に参画し貢献できる環境を整備します。

■施策 03 いつまでも学び続けることが叶うまち

■施策 04 誰もが気軽にスポーツに親しめる場の提供

■施策 05 郷土の歴史と文化芸術を生かしたまちづくり

【※1】これまでの「教育」「勤労」「引退」の3ステージによる生き方ではなく、副業・兼業、起業、学び直し、ボランティアなど、一人ひとりが違った生き方を見出し、様々なステージを並行・移行しながら生涯現役であり続けること。

01 地域ぐるみで魅力ある学校教育



関連するSDGs項目



◆目指す姿

地域や教育機関が一体となって子どもたちの充実した学びを実現する。

◆現状と課題

- 子どもたちの学びの環境は大きく変化し、GIGAスクール構想^{※2}への対応など、変化が激しい時代を生き抜く力の育みが求められています。
- ICT^{※3}機器への対応を含めた教員の指導力向上とともに、地域力を生かした学びの充実や部活動地域移行などによる教員の負担軽減を図っていく必要があります。
- すべての子どもたちが、社会参画の基盤となる学力を身につけられるよう、きめ細やかな学びのサポートの継続が必要です。
- 支援を必要とする子どもたちに対し、個別の教育ニーズに柔軟に対応できる体制を整備し、社会参加を見据えた教育環境の整備が求められています。
- 空調設備による猛暑対策など、教育環境の整備と学校施設の適切な管理を継続的に進めていくことが必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 町内のあらゆる教育機関が連携を強め、各校の特色を生かしながら、質の高い教育活動を展開します。
- より地域に開かれた学校運営に向け、コミュニティスクール^{※4}の在り方、推進体制を見直し、家庭・地域・学校・行政が一体となった学びの環境の充実を図ります。
- 子どもたちの確かな学力の定着を図るため、充実した学びのサポート体制を継続します。
- 誰一人取り残さない教育の実現に向け、子ども一人ひとりの個性や特性に応じた支援を継続します。
- ◎町立学校は現状の体制を維持しながら、子どもたちが安全・安心して学校生活を送れるよう、適切な施設環境を整備します。

(実施計画項目)

- ・町内教育機関の連携による地域教育力の充実
- ・地域や家庭とともにつくる学校運営
- ・きめ細かな学びをサポートする支援の実施
- ・質の高い教育環境の整備

関連する個別計画

鷹栖町学校教育目標／鷹栖町立学校適正配置計画

【※2】学校において1人1台端末機器を整備し、学校教育における情報通信技術環境の充実を図る取組。

【※3】「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略。通信技術を活用したコミュニケーション。情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

【※4】学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組み。

02 感性を育むふるさと共育



関連するSDGs項目



◆目指す姿

鷹栖町ならではの環境を生かした学びを通して、次代を担う子どもたちが感性豊かに自ら道を切り開き、郷土を誇りに感じて成長する。

◆現状と課題

- 「生まれ育ったふるさとを理解し、子どもたちに郷土愛を深めてほしい」との思いが住民に強まっています。
- 将来の変化を予測することが困難な時代を生き抜くため、自ら課題を解決し未来を力強く切り開く人材が社会に求められており、学力だけではなく、社会性やコミュニケーション能力、やり抜く力などを育むことが必要とされています。
- 子どものみならず大人に向けても、社会人のリカレント教育（学び直し）の要素としてふるさと共育の推進を図っていく必要があります。
- グローバル社会への対応が求められており、国際理解の推進や多様な交流活動による学びの提供が必要となっています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 誰かと共に学びあい、関心を広げ、自ら探求する姿勢を育む「共育活動^{※5}」を、地域資源を活用しながら継続して取り組み、町民の郷土愛向上を図ります。
- 小中学校と連携したふるさと共育プログラム「あったかスタディー^{※6}」を継続実施します。
- 感性と社会性を育むコーディネーショントレーニング^{※7}を取り入れた、鷹栖版オリジナル教育プログラムによる教育活動を継続実施します。
- 外国語指導助手（ALT）と連携した活動を充実し、あらゆる世代の国際理解の推進を図ります。
（実施計画項目）
 - ・ まちの資源を生かしたふるさと共育の推進
 - ・ 次代を担う青少年教育の充実
 - ・ 農育とキャリア教育の推進
 - ・ 国内外交流教育活動の実施

関連する個別計画

鷹栖町社会教育アクションプラン

【※5】造語。「お互いに尊重しあって共に関わりあうことで、共に学び、共に育まれる」という視点を大切にしたいという意味を込めて、「教育」ではなく「共育」という表現を用いている。

【※6】町内の小中学校と連携し、学校の授業でふるさと鷹栖を学ぶ、小中9年間のプログラム。

【※7】潜在的な能力に刺激を与え、運動などを早く学習できるようにするための“学ぶ力”を得ることを最大の目的としたトレーニング。

03

いつまでも学び続けることが叶うまち



関連するSDGs項目



◆目指す姿

いつまでも生き生きと学ぶことができ、学んだ成果を暮らしや地域で生かして新たな価値を創造し、一人ひとりの人生が豊かになる。

◆現状と課題

- 人生100年時代におけるマルチステージ化^{※1}が進み、社会教育においては対象型事業から課題別事業への転換が求められています。
- 学びのニーズが多様化する中、時代の変化を知る、地域課題を解決する「学ぶべきこと」と、町民が「学びたいこと」に対応した学びの提供が必要です。
- 各地区住民センターを拠点とした地域運営組織がスタートし、連携した取り組みによる学びの機会の充実を図る必要があります。
- ICT^{※3}機器の活用によるサービス等の急速な推進により、町民のデジタルリテラシー^{※8}の向上が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 時代の変化や地域課題解決に向けた学びの場の充実を図り、その成果を地域社会で生かせる、学んだ方が地域社会で活躍できる取り組みを進めます。
- 知識の習得や創造力の育みに欠かせない、読書環境の充実、読書活動の推進に継続して取り組みます。
- 各地区拠点での活動推進に向け、社会教育士の配置を推進するなど、活動をつなぐ人材の育成を進めます。
- 学びのツールとしてICT^{※3}機器を活用できるスキル習得に向け、町民のデジタルリテラシー^{※8}の向上に向けた取り組みを進めます。

(実施計画項目)

- ・あらゆる世代が学べる機会の充実
- ・地域の学びのニーズに即した活動の推進
- ・人生を豊かにする読書活動の充実

関連する個別計画

鷹栖町社会教育アクションプラン／鷹栖町読書活動推進計画

【※8】インターネットやデジタル技術について理解し、効果的に活用するためのスキルのこと。機器の操作、情報の検索・収集、プライバシーやセキュリティの管理などが含まれる。

04 誰もが気軽にスポーツに親しめる場の提供



関連するSDGs項目



◆目指す姿

誰もが気軽にスポーツに親しみ、多様なスポーツ活動を通して地域交流や健やかな暮らしを実現する。

◆現状と課題

- 全体的なスポーツ人口が減少している中、単なる余暇活動ではなく、健康づくりやコミュニティ形成など、多様な視点からスポーツ活動を推進する必要があります。
- 総合型地域スポーツクラブ※⁹の設立により、あらゆる世代がスポーツに親しむ環境の基盤が整備されました。活動拠点の確立やさらなる機能強化の充実が求められています。
- 運動を好きな子どもの割合は増加傾向にあり、継続した取り組みによる一定の効果が表れていますが、共働き家庭の増加などを背景に、子どもたちがスポーツに親しむ機会、少年団の加入数が減少しており、さらなる対策が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎健康づくりと連動した運動習慣化の推進を継続するとともに、ライフパフォーマンス※¹⁰の向上を目的としたコンディショニング※¹¹に関する研究を進め、町民が心身ともに健康に暮らせるよう支援します。
- 総合型地域スポーツクラブは、町内体育施設を拠点として活動していく体制の構築、部活動地域移行の推進など、まちのスポーツ活動を担う中核組織として強化します。
- 子どもたちが望むスポーツ活動に取り組めるよう、調査研究を進めながら、よりよい環境整備を進めます。

(実施計画項目)

- ・生涯にわたってスポーツが楽しめる環境の充実
- ・運動を通じた健康づくりに取り組む機会の提供

関連する個別計画

鷹栖町社会教育アクションプラン

【※9】子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向・レベルにあわせて参加できる（多志向）、地域住民が自主的・主体的に運営するクラブ。令和5年3月に設立。

【※10】それぞれの年代、世代において最高の能力が発揮できる状態。

【※11】※10の状態実現に向け、精神面・肉体面・健康面などから状態を整えていくこと。

05

郷土の歴史と文化芸術を生かしたまちづくり



関連するSDGs項目



◆目指す姿

先人たちが築いた地域の歴史や文化を大切にし、盛んな文化活動が町民の心を豊かにする。

◆現状と課題

- 文化芸術活動の充実は住民アンケートでも満足度が高く、たかすメロディーホールを中心とした各種活動が盛んであり、継続した取り組みが求められています。
- 農村集落の伝統文化を受け継いできた郷土資料館は、所蔵している「馬の装蹄用具及び関連資料」が文化庁登録有形民俗文化財として登録され、町内外からの関心の高まりへの対応が必要です。
- まちの歴史、郷土資料などの継承が途絶えてしまうことが危惧される中、新たに町民有志による郷土研究団体が立ち上がるなど、継承に向けた新たな動きが進んできました。
- 関連施設の老朽化、町民の利用促進が課題となっており、より町民に親しまれる施設運営が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- たかすメロディーホールの存在が、まちの文化振興に大きく寄与してきました。優れた芸術文化にふれる機会を継続して提供します。
- 郷土資料への関心の高まりを生かし、地域資源としての保全・活用を推進し、その魅力を将来にわたって受け継いでいく取り組みを進めます。
- ◎次世代への確かな継承に向けては、デジタル技術の活用を調査研究し、郷土資料を効率的・効果的に保存できる環境整備を進めます。
- 来館者の満足度向上に向け、既存施設を生かしたさらなる魅力向上を図ります。

(実施計画項目)

- ・文化財の保存と積極的活用
- ・文化芸術を楽しむ環境と機会の充実
- ・郷土の魅力を次代へ継承するための体制整備

関連する個別計画

鷹栖町社会教育アクションプラン



◆基本目標2◆

あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち

政策①

つながる暮らしづくり

複雑化する社会の中、誰もが生涯にわたって、笑顔で暮らすことができる地域の実現に向けて、日常を彩り豊かにする多世代交流を促進し、安心して支え合うためのつながりづくりに取り組みます。子育てのニーズや価値観が多様化する中、子育ての素晴らしさを感じながら、安心して子育てができるように、地域全体で温かく子どもを育む環境を維持し、子どもの発育状況にあわせて気軽に相談できる体制の充実を図ります。

自立とは、「地域で多くの方と依存できる関係を築くこと」だといわれています。すべての世代において、一人ひとりが抱える課題を見つめ、寄り添う体制を継続します。立場や状況に関わらず、誰もが自立した日常の暮らしを実現するための支援に取り組みます。

■施策 06 希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援

■施策 07 一人ひとりが充実した暮らしを営むまち

政策②

生涯元気に活躍する暮らしづくり

健康な状態を持続することは、あらゆる活動に取り組むための基盤として大切なことです。身体的にも、精神的にも、社会的にもそれぞれに満たされ、健康を実感する個々の「ウェルビーイング^{※12}」の実現に向け、従来から取り組む健康と福祉のまちづくりの精神のもと、ライフステージに応じた効果的な健康づくりを支援します。

健康寿命を伸ばすために、楽しく体を動かす、培ったスキルを生かすなど、社会と関わる機会を増やし、心身ともに充実した高齢期を過ごすことができる環境を整備します。

経験したことのない未知の新型コロナウイルスにより、「自らの健康は自らで守る」という自覚を持つ大切さを改めて認識しました。あらゆる立場の人が、健康で生きがいを持って充実した日々の暮らしを営むことができるよう、主体的に健康づくりに取り組む町民を増やし、必要な保健医療サービスへつなげます。

■施策 08 生涯元気に活躍できるまち

■施策 09 みんなで主体的に取り組む健康づくり

【※ 12】個人の心身のみならず、社会的な面も含めて満たされた状態。人生の満足感、個々の幸せ。

06

希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援



関連するSDGs項目



◆目指す姿

地域が一体となって子どもに寄り添い子育て世代を支え、子育て世代の希望が満たされるまち。

◆現状と課題

- 子育て環境は社会変化に伴い、より多様なニーズへの対応が求められています。
- 希望を叶える子育て環境の実現に向けては、妊娠前、妊娠・出産期、子育て期まで切れ目なく寄り添う体制の継続的な整備が必要です。子育てに関する多種多様な相談ができる親族等が身近にいないケースも多く、専門的知識をもった支援体制の継続が求められています。
- まちの将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもの生きる権利を守る体制の強化、こどもまんなか社会^{※13}の実現に向けた取り組みが必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎認定こども園やNPO法人などと連携し、共働き家庭でも安心して子育てできる環境を継続して整備します。また、町立保育園を統合し、0歳児保育や一時預かり保育の受け入れ体制の充実等を図り、多様化する保育ニーズへの対応を進めます。
- 母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制の構築を図り、保健師や助産師、子ども家庭支援員を中心に各機関と連携し、妊娠前、妊娠・出産期、子育て期まで一貫して寄り添う体制で支援します。
- ◎身近な地域において適切な相談支援及び発達支援を受けることができるよう、子ども発達支援センターを設置し、健やかに成長できるよう多角的な支援を行います。
- まちの子ども一人ひとりが大切な存在であることをしっかりと受け止め、すべての子どもたちの成長を支えます。

(実施計画項目)

- ・妊娠、出産の希望が叶う環境整備
- ・安心して仕事と子育てを両立するための環境整備
- ・子育て世代に対する継続的・包括的な相談支援
- ・地域一体で子育てを応援する仕組みの充実
- ・子どもの安全と安心を地域で守るネットワークづくり
- ・多様なニーズに対応できる子育て支援の推進

関連する個別計画

鷹栖町子ども・子育て支援事業計画

【※13】 子どもや若者の視点に立ち、子どもにとっての利益を第一に考える国の政策。令和5年には「こども家庭庁」が発足した。

07

一人ひとりが充実した暮らしを営むまち



関連するSDGs項目



◆目指す姿

一人ひとりが希望を叶え、社会的役割を持って活躍し、つながり高め合う地域共生社会の実現。

◆現状と課題

- 町民がつながりを実感して充実した暮らしを実現するため「お互い様づくり」のもと、地域住民の助け合い精神を養い、地域共生社会^{※14}の実現に向けた推進が図られており、継続した取り組みが必要です。
- あらゆる相談のワンストップ窓口として、「生活福祉相談センター」を設置していますが、複雑化・複合化した相談ケースもあり、相談に対応するスキルと知識が求められています。
- 近年のコロナ禍や急激な物価高騰などが影響し、経済的に困窮している方が少なからずいる状況です。将来にわたって、貧困を原因とした機会の均等が損なわれない支援が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎まちの中心である鷹栖市街地において、地域共生社会^{※14}の福祉拠点整備構想を具体化し、整備を進めます。
- 社会福祉協議会と連携し、生活福祉相談センターが核となったシームレスな相談支援^{※15}と、寄り添い、伴走するためのアウトリーチ強化推進^{※16}を両輪で取り組み、継続した支援体制を整備します。
- より複雑化する社会の中、「誰もが安心した暮らし」の実現のため、多機関が協働して個別の課題解決に対応できる相談体制のさらなる充実を目指します。
- 経済的に困窮している方への支援に継続して取り組みます。

(実施計画項目)

- ・地域共生社会^{※14}の実現に向けた支え合い活動の推進
- ・関係機関と連携した相談支援体制の強化
- ・課題を抱える人への支援と社会参加の促進

関連する個別計画

鷹栖町地域福祉計画／鷹栖町障がい福祉計画

【※14】 地域住民や地域の多様な主体が「我がごと」として参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

【※15】 切れ目のない、垣根のない相談支援。

【※16】 積極的に対象者のいる場所に出向いて働きかけること。

08

生涯元気に活躍できるまち



関連するSDGs項目



◆目指す姿

高齢になっても住み慣れた地域で生きがいを持って、元気に豊かな生活を送ることができるまち。

◆現状と課題

- 本町の高齢化率（65歳以上の人口割合）は3割を超えています。人生100年時代、人生のマルチステージ化^{※1}が進む中、高齢になっても社会的役割をもって活躍できる社会の実現が求められています。
- 地域包括ケアシステム^{※17}においては、複合的な課題を抱える相談が増加しており、引き続き連携体制を推進していく必要があります。
- 高齢者が住み慣れた地域で「生涯元気」に安心して暮らし、いきいきと活動できる社会の実現に向け、多様な支援を継続して進めていく必要があります。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 誰もが生きがいを持って、社会の一員として活躍できるよう、地域活動への参加促進や就労支援を図ることで、充実した生活を送ることができる支援を進めます。
 - 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう多様な主体が関わる地域包括ケアシステム^{※17}を推進します。生活支援サービスの提供や、医療と介護の連携とともに、高齢者の困りごとの解決、支援を引き続き推進し、介護が必要な状態や認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。
 - 介護保険制度の適正化、サービスの質の確保・向上、計画的な基盤整備等を推進し、介護保険制度を安定的に運営します。
- （実施計画項目）
- ・生涯にわたって生き生きと地域で活躍する環境整備
 - ・地域包括ケアシステムの充実
 - ・介護保険事業の推進

関連する個別計画

鷹栖町介護保険事業計画・高齢者福祉計画

【※17】住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み。

09

みんなで主体的に取り組む健康づくり



関連するSDGs項目



◆目指す姿

「自分の健康は自分で守る」という意識を持って、誰もが楽しく健康づくりに取り組み、元気に充実した人生を過ごす。

◆現状と課題

- 町内の国民健康保険加入者の医療費を道内の自治体と比較分析すると、従前よりも外来診療が高くなったのに対して入院医療費が安くなり、継続的な特定健診の受診勧奨等による効果が見られ、継続的な取り組みが必要です。
- 働き盛り世代の健康への関心向上に向け、健康ポイント事業などに取り組み意識向上を図っていますが、参加割合は高齢者が多く、内容や手法の改善が求められています。
- 健康づくりの切れ目ない支援につなげるためにも、妊産婦から成育過程の支援プラン策定、一元的な情報把握のシステム化など、情報共有や効率化による相談支援体制の強化が必要です。
- 地域唯一の医療機関の負担増が懸念され、地域医療体制の在り方に関する検討は継続が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たにに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 生活習慣病やがんの予防・早期発見・重症化予防に努め、食習慣・身体活動、口腔ケアの視点を中心に、町民一人ひとりの健康的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進め、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。
- 精神保健についての正しい知識の普及などを含め、心の健康づくりを推進します。
- 健康ポイント事業を核としたスポーツ活動との連携を継続するとともに、より若い世代が参加したくなるような仕組みづくりを進めます。
- 子どもから成人・高齢期までの健診情報の連携により、予防を重視した効果的な保健事業の展開に向け、調査研究を進めます。
- 全世代を見据えた健康教育の充実を図り、誰もが楽しく健康な行動がとれる環境整備を推進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。
- 将来にわたって、安心して暮らすことのできる地域医療体制を確保します。
(実施計画項目)

- ・保健医療サービス体制の整備
- ・生活習慣病予防のための健康増進支援
- ・若年期からの健康教育の推進
- ・持続可能な地域医療体制のあり方の検討

関連する個別計画

鷹栖町健康増進計画／鷹栖町保健事業実施計画／いのちを支える鷹栖町自殺対策行動計画



◆基本目標3◆

あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち

政策①

可能性あふれる農業を次代につなぐしごとづくり

まちの魅力に直結する、基幹産業である農業の魅力化と持続性の構築を推進し、力強い農業への歩みを進めます。本町の特徴である、寒暖差が大きい気候や盆地の肥沃な土壌といった恵まれた自然環境を十分に生かし、地域で継承された知恵と技術、新たな創意工夫を総動員することで、地域資源を最大限に生かした、多様な人材が関わる1次産業を創生します。

さらに、農村資源を生かした体験交流や教育活動の取り組みを広げ、域外も含めた多くの人材が農村とつながる環境を整備します。未来への可能性を広げる多様性に富んだ農業を支援し、持続可能な農村コミュニティを構築します。

■施策 10 未来へつなぐ明るい農業

政策②

地域の魅力を高める豊かなしごとづくり

商工業は町民の生活を支える基盤であるとともに、雇用やにぎわいを生み、地域コミュニティに活力を与える重要な役割を担っています。まちの顔ともいえる中心市街地の活性化に取り組むとともに、安心して買い物ができる環境整備、新たな起業や活動の支援を推進し、地域内経済循環と域外からの稼ぐ力をともに高める、力強い商工業の構築を進めます。

農村ならではの魅力や自然環境を生かした体験型観光を推進するとともに、事業者が連携して進める地場産品の開発や販路拡大の取り組みを支援し、地域に根ざした持続性のあるビジネスの創出に取り組みます。

■施策 11 商工業の持続的な発展

■施策 12 資源を生かした観光振興

■施策 13 地場産業の活力の創出

10 未来へつなぐ明るい農業



関連するSDGs項目



◆目指す姿

資源を生かした多様な特色ある農業が地域の魅力を高め、稼ぐ農業の確立により活力あふれる農村を実現。

◆現状と課題

- 農業生産基盤の強化を進めた結果、一経営体あたりの面積が大きくなった一方、農業者数は減少しています。高収益作物の作付が重要となりますが、人手不足が懸念されています。
- あったかファームを核とした担い手の確保、育成により、新規就農者は一定程度で推移していますが、全体的な農家戸数は減少傾向です。
- デジタルの力を活用した地域農業の地域課題解決手法の取り組み、農福連携による労働力の確保など、農村コミュニティの持続と親和性のある農業推進に向け、未来を見据えた取り組みが必要です。
- 農業者と消費者のつながりがまだ希薄であり、町民が一体となって「農業のまち」を誇りに感じられる取り組みが求められています。
- 鳥獣による農作物被害が続いており、被害軽減へ向けた対策が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎農業生産基盤センターを設置し、農地ゾーニングや土地改良事業の推進、新たな就農場所の確保や方向性を検討します。
- 持続可能な農業振興策の展開に向け、ICT^{※3}を活用した栽培技術・経営の最適化促進、農業者へのデジタル対策サポート、環境に配慮した取り組み、女性農業者の活躍等を積極的に支援します。
- 労働者の確保については、農福連携の研究継続やあったかステーションとの連携強化など、多様性に富んだ農業を推進し、更なる充実に向けて取り組みます。
- ◎鷹栖市街地における商業拠点施設において、町の農産物を販売・購入できる仕組みづくりを推進し、消費者とのつながりを創出します。
- 鳥獣被害対策を継続するとともに、地域猟友会の体制強化に向けて支援します。

(実施計画項目)

- ・活力ある農村コミュニティを持続するための地域農業のデザイン
- ・多様性と可能性を高める特色ある農業への支援
- ・農業に取り組む人材の確保と育成
- ・良好な環境と農地を未来へ引き継ぐ活動の推進
- ・農業体験交流の推進
- ・農業者と非農業者をつなぐプラットフォームの構築
- ・農業生産基盤の強化
- ・畜産の振興
- ・魅力ある農産物の確立

関連する個別計画

鷹栖町農業ビジョン／鷹栖町鳥獣被害防止計画

11

商工業の持続的な発展



関連するSDGs項目



◆目指す姿

商工業の魅力を高めてにぎわいを創出し、地域コミュニティに活力を生み出す。

◆現状と課題

- 地域経済の活性化による商工業者の経営安定が課題であり、今後、経営者の高齢化や後継者不在等の理由による閉店、廃業などが懸念されます。
- 経営者の高齢化や後継者問題の解消に向け、地域おこし協力隊を活用した、継業モデルケースの構築に向けた取り組みが動き出し、成果や改善点をふまえた調査研究が必要です。
- 中心市街地として町の顔とも言える鷹栖市街地において、商業拠点施設の整備を進めています。買い物環境の充実が図られる中、さらなる賑わいの創出が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 商工業者の経営安定及び収益拡大を図るため、域内からの消費の流出を抑制し、域外からの消費拡大を目指します。事業継続・承継に向けた支援チーム体制を組み、承継モデルの事例を確立させます。
- 新規開業や空き家等の有効活用を支援し、魅力ある店舗を増加させ、地域コミュニティの活性化を図ります。
- ◎商業拠点施設と連動したチャレンジショップ※¹⁸を整備し、新たな挑戦に取り組みやすい環境づくりを進めます。

(実施計画項目)

- ・商工業者の経営安定化への支援
- ・商工業者の連携による中心市街地のにぎわい創出
- ・起業や空き店舗等の活用によるチャレンジ支援
- ・継業に向けた研究と後継者の育成、確保

関連する個別計画

みんなでつくる鷹栖市街地未来ビジョン

【※ 18】 商売を始めたいが経験もなく、最初から独立店舗で始めることが困難な人に対し、行政等が家賃や管理費などを一定期間無償、または低額で店舗を貸し出す制度。

12 資源を生かした観光振興



関連するSDGs項目



◆目指す姿

「また来たい」「何度も訪れたい」と感じる、心を満たす観光と交流。

◆現状と課題

- パレットヒルズはキャンプ需要の高まりを生かし、冬季開放による冬キャンプ、スノーアクティビティを関係機関等と連携して運営しており、利用者数の増加、新たな利用促進の創出につながっています。
- 町内で民泊が開業するなど、事業者自らが体験型の観光に取り組む機運が高まっていますが、他の事業者との連携が不足しており、コーディネートできる人材育成が課題です。
- 田園風景と融合した大雪山連峰を一望できるパノラマや、豊富な農業資源など、地域資源を生かした観光の振興が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 四季折々の自然を体感できるパレットヒルズは、町内外から多くの方が訪れるスポットと成長しました。自然との共生を大切にしながら、まちの観光資源としての整備を継続して進めます。
- ◎大雪カムイミンタラDMO^{※19}など、外部の人材や広域ネットワークを生かしながら、受け入れ体制の整備や事業者連携を進めます。
- ◎観光事業を進めていく基盤づくりを進め、農村資源や歴史・郷土文化を生かした体験型観光など、小規模ながらも満足度が高い観光施策を継続して展開します。

(実施計画項目)

- ・大雪カムイミンタラDMOとの連携
- ・農業と連携した体験型観光の推進支援
- ・観光資源のネットワーク化とリピーターの拡大
- ・パレットヒルズの整備と利活用促進

関連する個別計画

パレットヒルズ基本構想

【※ 19】 鷹栖町を含めた旭川圏域の市町村などで構成する組織。DMO（観光地域づくり法人）とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域運営の視点に立ち、多様な関係者と協同して進めるための調整機能を備えた法人。

13 地場産業の活力の創出



関連するSDGs項目



◆目指す姿

事業者間や産業間の連携が進み、まちの強みを生かして地域に根ざした持続性のあるしごとを創出。

◆現状と課題

- 企業の進出や参加が乏しく、鷹栖町ならではの農業資源や事業者間連携を生かした、地場産業の活力の増強が求められています。
- アクティブシニア※²⁰世代を対象に、多様な働き方で事業所とマッチングする基盤が構築され、利用の促進も図られています。多世代が活用できる、多分野の企業等が活用できる仕組みへと発展させていく必要があります。
- 事業者の努力により、新たな商品開発が積極的に進められ、地場産業の活力増強が図られています。販路拡大、PRによる認知度の向上、さらなる事業拡大、雇用創出に支援が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎鷹栖市街地における商業拠点整備により、新たな雇用の創出が期待されます。また、物産館の併設により、特産品などのPR・販売を実施し認知度の向上につなげます。
- 町内雇用のマッチング事業を事業者に浸透させ、農業をはじめとした地場産業の人材不足解消につなげていくとともに、事業を通して消費者が地場産業とふれあう機会を創出します。
- 既存商品のブラッシュアップ及び販路開拓を進めていくとともに、新たな特産品開発に向け、事業者間連携の充実を図っていきます。あわせて、町民や近郊市町村の消費者をターゲットとした特産品等の定期的なPR・販売を実施します。

(実施計画項目)

- ・事業者間の連携強化
- ・地場産品の研究開発と販路拡大
- ・地場の強みを生かした企業誘致活動の推進
- ・町内雇用のマッチング支援
- ・町内産業、企業に対する職業理解の意識醸成

関連する個別計画

鷹栖町地域未来投資促進法基本計画

【※ 20】さまざまな活動に意欲的に参画する、元気で活動的なシニア層。



◆基本目標4◆

あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち

政策①

生活の安心を支える環境づくり

町民の暮らし、交流、活動を支える、本町の良さを生かしたインフラ整備を継続します。自然環境と都市機能が調和した魅力あるまちの形成を持続するため、循環型の市街地形成を推進しつつ、人口減少の現状と向き合いながら、将来に負担を残さない戦略的な道路整備など交通インフラの維持管理、除雪体制の整備、施設の管理などを適切に進め、町民の暮らしを支える基盤を維持、整備します。

近年、地震や豪雨による自然災害リスクが高まり、災害時への備えをより一層強化しなければならず、地域の自主防災力の強化を図ります。また、地域団体と連携して交通安全や防犯活動を推進し、安全で安心な暮らしを実現します。

- 施策 14 自然環境と都市機能が調和した魅力あるまちの形成
- 施策 15 安全で安心なまちづくりの推進
- 施策 16 生活インフラの適正な整備と管理

政策②

美しい自然を保全する環境づくり

「ゼロカーボンシティ宣言たかす」に基づき、環境に配慮した持続可能な地域の実現に向けて、ごみの減量化や低炭素社会に向けた取り組みを推進し、町民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践するための啓発活動と環境整備に努めます。まちの貴重な資源である森林を適切に整備し、森林が持つ公益的機能の維持増進に取り組みます。

町民の心を豊かにする風土、風景、景観、自然環境を未来の世代へと引き継ぐための取り組みを、町内に限らず、関係人口や企業と協働連携し、地域一体で推進します。

- 施策 17 地域の豊かな環境の保全と自然エネルギーの活用
- 施策 18 森林の公益的機能の維持増進

14

自然環境と都市機能が調和した魅力あるまちの形成



関連するSDGs項目



◆目指す姿

豊かな自然環境と効率的に形成された市街地が調和し、おだやかで住み心地のよいまち。

◆現状と課題

- 人口減少と高齢化の進行は当面続くことが見込まれ、特に鷹栖市街地では児童数の減少が顕著であり、市街地内の特定エリアにて今後の空き家発生リスクも高まる懸念されています。
- 都市機能やコミュニティ機能を持続させるため、市街地の未来像を明確にし、子育て世代の定住化によって、人口構成バランスの適正化を継続的に進める必要があります。
- 子どもや住民が安心して利用できる充実した公園環境は町の強みであり、引き続きニーズに沿った管理と整備を継続する必要があります。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 新たな市街化は抑制し、現在の市街地規模と必要な都市機能を維持し、空き家等既存ストックや未利用地を活用して新たな人の流れを促します。市街地の計画的な整備による将来にわたって持続可能なまちづくりを推進します。
- 本町の強みである、自然豊かな農村環境と生活しやすい都市機能が調和したまちづくりを継続するとともに、将来を見通した適切な住宅整備方針を明確にし、社会変化に対応した公営住宅の管理と必要な整備を進めます。
- 町民の暮らしにうるおいを与える公園環境の整備を継続します。

（実施計画項目）

- ・ 自然と調和した都市配置と循環型市街地形成の推進
- ・ 安心して暮らせる住環境の整備
- ・ 安全に利用できる魅力ある公園づくり

関連する個別計画

鷹栖町都市計画マスタープラン／鷹栖町立地適正化計画
 みんなでつくる鷹栖市街地未来ビジョン
 鷹栖町住生活基本計画基本計画／鷹栖町公営住宅等長寿命化計画
 鷹栖町緑の基本計画／パレットヒルズ基本構想
 公園施設等長寿命化計画

15

安全で安心なまちづくりの推進



関連するSDGs項目



◆目指す姿

町民一人ひとりが安全、安心に対する高い意識を持ったコミュニティの形成。

◆現状と課題

- 全国的に自然災害が増加しており、本町でも集中的な豪雨による災害リスクが高まる中、これまで以上に防災意識の高揚、防災への備え、地域防災力の向上が求められています。
- 旭川市との広域化によって、充実した消防、救急、予防体制は維持されていますが、消防団員は依然として人員の確保が求められています。
- 高齢者による交通事故が増加しており、防止に向けた取り組みが必要です。
- 手口が巧妙化している特殊詐欺は、高齢者のみならず、子どもや若者が被害にあうケースも増えており、すべての世代に対する対策が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 全町に整備した防災行政無線の有効活用を進め、日常的な防災の啓発による町民意識の高揚を図ります。
また、防災計画を検証・更新するとともに、地域運営組織と連携した自主防災組織の仕組みづくりを目指します。
- 消防団員の人員確保に努め、各種媒体を通して地域団員及び女性団員の入団について、積極的な広報を実施します。
- 地域団体と連携した交通安全運動、防犯活動に継続して取り組み、町民の安全安心を継続して守ります。
- 地域において、特殊詐欺を含めた消費者被害を少しでも減少させるために、住民に対する周知啓発を継続して実施するとともに、防止するための体制を引き続き整備します。

(実施計画項目)

- ・地域防災力の強化
- ・消防、救急体制の充実と消防団の積極的な人員確保
- ・地域と連携した交通安全運動と防犯活動の推進
- ・消費生活の安全確保のための被害予防と啓発活動

関連する個別計画

鷹栖町地域防災計画／鷹栖町国土強靱化地域計画
鷹栖町国民保護計画

16

生活インフラの適正な整備と管理



関連するSDGs項目



◆目指す姿

生活インフラが適正に整備、維持管理され、安心して快適に暮らすことができるまちを実現。

◆現状と課題

- 町内道路網の整備は概ね完了しており、今後は老朽化が進行している路線の安全確保が課題です。
- 河川管理施設や排水構造物は建設後長い年月が経過しており、施設の老朽化や土砂堆積が進行しており、減災・防災のため施設を健全な状態に保つことが重要です。
- 水道管は57%が耐用年数を経過しており、人口減少により給水収益が減少する中で、安定供給のための水道管更新や水質確保が求められています。
- 町内全域に光回線を整備し、通信インフラの充実が図られ、今後は維持するとともに、ICT※³を活用したサービスの充実が必要です。
- 公共交通対策は町民アンケートからも満足度が最も低く、整備と対応が急務です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 安全な道路交通網を確保するため、戦略的な修繕、更新を継続するとともに、冬の快適な生活環境を維持するため、町民の協力のもと、生活路線の円滑な除排雪に取り組めます。
- 河川や排水構造物は軽度の損傷部が弱点となり、重度の損傷へと急速に進行・拡大するため、適切な維持管理を継続し、減災対策を進めます。
- 老朽管は全てを更新することは、水道事業経営を圧迫するため、管種区分の更新基準（実使用年数）を定め、効率的かつ計画的に更新を進めます。
- ICT※³を活用した住民サービス向上に向けた調査研究を継続します。
- ◎人口減少が進む中、公共交通対策は民間路線バスの路線や便数の現状維持を目指すとともに、デマンドバスの運行を継続し、町民がより活用しやすい体系づくりを目指します。

（実施計画項目）

- ・ 日常生活を支える道路の整備と維持管理
- ・ 生活路線を守る除排雪体制の充実
- ・ 町内全域の情報通信基盤の整備
- ・ 住民力を生かした持続可能なインフラの維持管理に向けた検討
- ・ 自然環境と減災に配慮した河川の整備
- ・ 上水道の安定供給
- ・ 地域ニーズと時代変化に即した公共交通体系のあり方の構築

関連する個別計画

鷹栖町地域公共交通計画／鷹栖町橋梁長寿命化修繕計画
鷹栖町水道事業財政計画／鷹栖町水道事業経営戦略

17

地域の豊かな環境の保全と自然エネルギーの活用



関連するSDGs項目



◆目指す姿

豊かな自然や地域環境を守り、うるおいや安らぎのある環境を未来へと持続する。

◆現状と課題

- 自然豊かな地球環境や地域環境を守るため、大量の資源やエネルギーが消費される現代社会を見直し、持続可能な社会のあり方を追求し、実現することが求められています。
- 本町でも「ゼロカーボンシティたかす」を宣言し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを掲げており、実現に向けた取り組みが必要です。
- 太陽光発電を中心に取り組んできた再生可能エネルギーの普及や、ごみの減量化とリサイクルの推進は、今後も地域の課題として研究や取り組みの継続が必要です。
- 自然豊かでおだやかな景観は町の財産であり、未来へと持続したいという町民ニーズは依然として高い水準です。地域と一体となった保全の取り組みが必要です。
- 適正な下水処理による環境への配慮が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ◎まちの取り組みとSDGsとの関連性が見える化し、持続可能なまちづくりの視点で各種事業を多角的な視点で展開します。
- ◎将来的なゼロカーボンシティの実現に向け、地域の豊かな環境への理解を深め、未来に向けて町民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践する、環境保全活動を進めます。
- 公共施設においては引き続き、可能な限りの再生可能エネルギー転換を進めます。
- 従来から取り組んでいる、ごみの減量化とリサイクルの推進は、さらに取り組む意義をしっかりと町民に伝え、より一層の推進を図ります。
- 下水道施設の維持管理と合併処理浄化槽の普及に継続的に努めます。

(実施計画項目)

- ・ 環境保全活動の推進
- ・ ごみの減量化と資源化の推進
- ・ ゼロカーボンシティたかすの推進
- ・ 下水処理環境の整備
- ・ 景観に配慮したまちづくりの推進

関連する個別計画

地球温暖化対策実行計画／鷹栖町環境基本計画
 鷹栖町空き家等対策計画／鷹栖町一般廃棄物処理基本計画
 鷹栖町災害廃棄物処理計画／鷹栖町公共下水道事業計画
 鷹栖町下水道ストックマネジメント計画／鷹栖町公共下水道経営戦略

18

森林の公益的機能の維持増進



関連するSDGs項目



◆目指す姿

町内の森林全体が適切に管理、保全され、町民が身近にある森林資源の機能を理解し関心を高める。

◆現状と課題

- 森林が有する多面的機能を発揮するため、他の森林所有者に対する見本林としても町有林整備は重要です。今後は、経営コストについても調査研究を進め、継続的に進められる森林経営を進めなければなりません。
- 経営コストや相続等により森林管理に対し関心がない所有者が増えている現状です。皆伐の面積が多く、水源涵養機能^{※21}が損なわれたり、生態系の均衡が崩れたりする懸念も散見されます。
- 森林環境譲与税^{※22}を活用するなどして、森林の荒廃を予防し、森林の公益的機能を将来にわたって維持することが求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 町有林の育成が見本林として森林所有者の参考となるよう、適正な管理を進めるとともに、民有林も含めた町全体の森林の適正な保全を図ります。
- 水源涵養機能や自然災害の予防など、森林の公益的機能が将来にわたって維持増進するための整備を進めます。
- 企業の協力による植樹活動を推進し、町民が身近な森林に親しむ機会を創出します。また、森林認証^{※23}の取得により、付加価値の高い木材流通を目指すとともに、地域材の活用に向けた研究を継続します。
（実施計画項目）
 - ・ 町有林の計画的な整備
 - ・ 民有林の適正な管理の推進
 - ・ 町民が森林に親しむ場の提供
 - ・ 地域材の有効活用に向けた調査研究

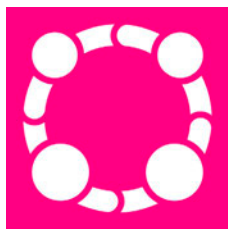
関連する個別計画

鷹栖町森林整備計画

【※ 21】 森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される。

【※ 22】 森林現場の課題に早期に対応する観点から、「森林経営管理制度」の導入に合わせて2019年度から譲与が開始され、市町村や都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で案分して譲与される。

【※ 23】 適正に管理された認証森林から生産される木材等を生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購入を通じて持続的な森林経営を支援する仕組み。



◆基本目標5◆

あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち

政策①

関係が連なり大きな輪となる交流づくり

町内5地区で動き出した地域運営組織を中心とした地域のコミュニティ活動を今後も引き続き支援するとともに、地域課題の解決に向けた協働活動を推進しています。

また、住民ワークショップなどで町民性を表現するキーワードとしてあげられた「オープンマインドで歓迎する、いきいきわくわくが好き、優しさ」といった特徴を今後も大切に、きめ細やかなアプローチでまちの暮らしへの共感を高め、地域と調和する移住定住を引き続き推進します。

これまで取り組んできた「ふるさとまちづくり応援寄附制度」など、町外からまちを訪れ、まちを応援し、まちづくりに関わる「関係人口」を創出する取り組みを推進、強化します。また、民間企業との連携や地域おこし協力隊の継続的な活用により、多様な主体が関わり、新たな交流を促進しつながりの輪を広げ、まちづくり活動の発展や活性化を促します。

近年急速に進むデジタル社会に対応し、効果的かつ効率的な情報発信や情報格差対策、住民サービスの向上に向けたDX^{※24}を推進します。

- 施策 19 住民参加と連携によるまちづくり
- 施策 20 戦略的な情報発信
- 施策 21 地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出
- 施策 22 持続可能な行財政運営

【※ 24】 デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術や様々なデータを活用して、製品やサービス、ビジネスモデルそのものを変革するとともに、組織や風土をも改革すること。

19

住民参加と連携によるまちづくり



関連するSDGs項目



◆目指す姿

町民がまちづくりやまちの未来に関心を持って、地域の課題を地域で解決する取り組みが盛んなまち。

◆現状と課題

- 新たな時代の地域運営のあり方として、地域の課題を地域自らで解決していく仕組みづくりの基盤となる地域運営体制の構築を進めています。町内5地区を基盤とした地域運営組織が設立され、拠点となる地区住民センターの管理運営を含めた取り組みが進んでいます。地域への人的支援、財政的支援を強化して進めています。より住民の暮らしに近い地域が主体となって安心して快適な暮らしを創出できるよう、改善を図りながら持続的な支援が必要です。
- 人材育成と若者人材のネットワーク化を目指した取り組みを推進し、協働による新たな事業の創出が図られました。今後は、関わった人材の地域での活躍が求められています。
- 人口減少に対応したまちづくりを進めるうえで、他自治体や民間企業、様々な関係機関との連携強化が必要です。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 各地区の地域運営組織が安定的に地区住民センターの指定管理を受託しながら、地区の計画に基づいた地域の課題解決に向かえるように、あるべき地域内組織体制、協働の体制へと発展できるよう支援します。
- 構築した若者人材のネットワークの持続化に向けたフォローアップを継続し、地域の担い手となる人材の育成を進めます。
- 人口減少局面でのまちづくりにおいて、外部機関の参画を得ながら成果を高めていく取り組みは極めて重要です。現状、構築している連携を生かして、課題解決の事業を共創し、取り組みを積み重ねることで、持続性のある連携関係へと強化します。

(実施計画項目)

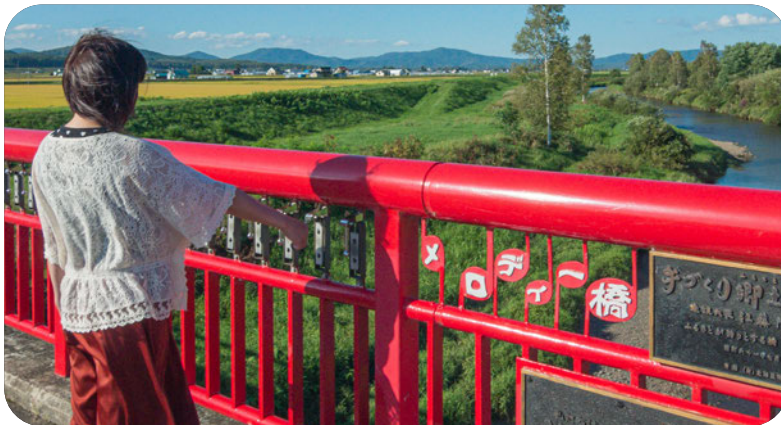
- ・地域コミュニティ活動への支援
- ・住民参加のまちづくりの推進
- ・持続可能な地域づくりの推進
- ・姉妹都市や圏域などのつながりを生かした広域連携行政の推進
- ・民間活力を生かしたまちづくりの推進

関連する個別計画

鷹栖町デジタル田園都市国家構想戦略／各地区計画

20

戦略的な情報発信



関連するSDGs項目



◆目指す姿

町民やまちに関わる人が、まちづくりへの理解とまちへの愛着度を深め、それぞれが自ら情報発信に取り組む。

◆現状と課題

- 町民に的確な情報を提供するため、わかりやすく充実した内容に努め、様々な媒体を活用した情報発信を行っています。世代ごとの活用媒体の多様化が進み、より効果的に伝え続けるために、時代に合った戦略的な情報発信が必要です。
- デジタル社会の急速な発展により、情報をキャッチできない人への対策が求められています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- ターゲットにあわせて戦略的に情報発信するための方針をまとめ、「行きたくなるまち」「選ばれるまち」「住みたくなるまち」をテーマとしたタウンプロモーション※²⁵を進めます。
- ◎ICT※³機器を活用して情報を受け取る住民意識の向上に向け、情報格差対策を推進しデジタルリテラシー※⁸の向上を図ります。

(実施計画項目)

- ・ターゲットに合わせた戦略的な情報発信の構築
- ・広報活動の充実
- ・たかすを愛するファンを増やすプロモーションの推進
- ・町民のデジタルリテラシーの向上

【※ 25】町や地域の魅力や施策、情報を町内外に発信し、地域を知ってもらう活動。

21

地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出



関連するSDGs項目



◆目指す姿

鷹栖町のまちづくりと調和した移住や関係人口が広がり、人の流れや地域の活力に好循環が生まれ、町民の満足度が高まる。

◆現状と課題

- 移住施策は、地域に暮らす（関わる）人の愛着と熱量を高めることを大切にし、「人が人を呼ぶ調和のとれたコミュニティ」を目指す姿として事業体系を構築しています。新規就農や空き家対策等、横断的に連動させた「全世代全員活躍のまち」の考えのもと、新たな人の流れを創出できている、継続的な取り組みが必要です。
- 空き家になる以前からの対策を重視し、外部機関との連携、住民への啓発活動、早期の相談支援体制などの取り組みを進め、一定の成果を得ています。今後も空き家の発生は見込まれるため、継続が必要です。
- ふるさとまちづくり応援寄附制度により、多くの方が鷹栖町を応援し、記念品の魅力の発信につながっています。
- 人口減少と高齢化は今後も進行すると推測されており、移住施策と並行して都市部に暮らしながらも地方と継続的に関わる仕組みづくりを進め、地域力を高めていく視点が必要とされています。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- まちの暮らしと強みを磨き、「住む人の姿に共感し、新たに地域に関わる人が増える」という、人の好循環を生み出して、地域へ参画する総量を増やすための移住促進に取り組めます。また、地域活性と移住促進の2つの視点から、地域おこし協力隊制度の活用を継続します。
- 空き家になる以前からの啓発活動の充実や他部局と連携したスムーズな相談体制など空き家発生 of 未然防止を柱に、利活用の促進と、適正管理の促進を進めます。
- 鷹栖町の魅力を発信しまちへの関心を深めることで、新規寄附者の獲得を図りつつ、まちを継続して応援していただくための「持続性」にも注力します。
- 関係人口の創出は、既存事業のブラッシュアップのほか、新たな関係を生かし、「ふるさと共育から関係人口への接続」を目指して取り組みます。

（実施計画項目）

- ・地域の「人幸」※26を増やす移住定住の促進
- ・地域おこし協力隊制度の活用
- ・鷹栖町とつながり関わる関係人口づくり

関連する個別計画

鷹栖町空き家等対策計画／鷹栖町デジタル田園都市国家構想戦略／鷹栖町住生活基本計画

【※26】「人口」に対して、人の幸せや笑顔を大切にしたいまちづくりを進めたいとの意を込めた造語。

22

持続可能な行財政運営



関連するSDGs項目



◆目指す姿

健全で効果的な行財政運営を実現し、住民ニーズに的確に対応した組織体制の構築により地域の元気や住民満足度が高まる。

◆現状と課題

- 鷹栖町行財政改革プランに基づき、適切な行財政運営を推進していますが、人口減少と高齢化による社会構造の変化で、町税をはじめとする財源の大幅な伸びは期待できず、減少傾向で推移することが危惧されます。
- 住民活動の基盤となる施設などの公共インフラは、老朽化に伴う更新費用と、それに伴う公債費が増加する見込みであり、適正管理が求められています。
- 人口減少の時代に、限られた財源と職員数で政策効果を最大化するため、職員の資質向上や新たな技術を活用した住民サービスの提供が求められます。

◆基本的な方針 【◎＝新たに取り組むもの ○＝継続して取り組むもの】

- 高齢化の進行による医療や介護などの社会保障費の増加のほか、公共施設等の老朽化に伴う多額の改修・更新経費などにより歳出の増加が見込まれます。一方、人口減少に伴い税収が減るなど歳入は減少し、今後は厳しい財政運営となることが見込まれるため、引き続き行財政改革に取り組みます。
- 最小の経費で最大の効果を発揮するよう、選択と集中をより一層明確化し、DX^{※24}を推進するなど効率的で効果的な行財政運営、質の高い住民サービスを継続します。
- 将来世代に過度な負担を残さないため、公共施設などの適切な管理運営に取り組むとともに、将来の財政需要に対応する基金活用の方向性を定め、財政規律を堅持します。
- ◎行政職員の研修に取り組み、創意工夫によって地域の創生、DX^{※24}を進めていく人材を育成します。
(実施計画項目)

- ・ 効率的、効果的な行政運営の推進
- ・ 未来につなぐ健全な財政運営
- ・ システムの標準化と広域利用

- ・ 公共施設の適切な運営と適正配置の検討
- ・ 行政職員の人材育成の推進

関連する個別計画

鷹栖町公共施設等総合管理計画／鷹栖町個別施設計画
鷹栖町過疎地域持続的発展市町村計画
鷹栖町行財政改革プラン・アクションプラン

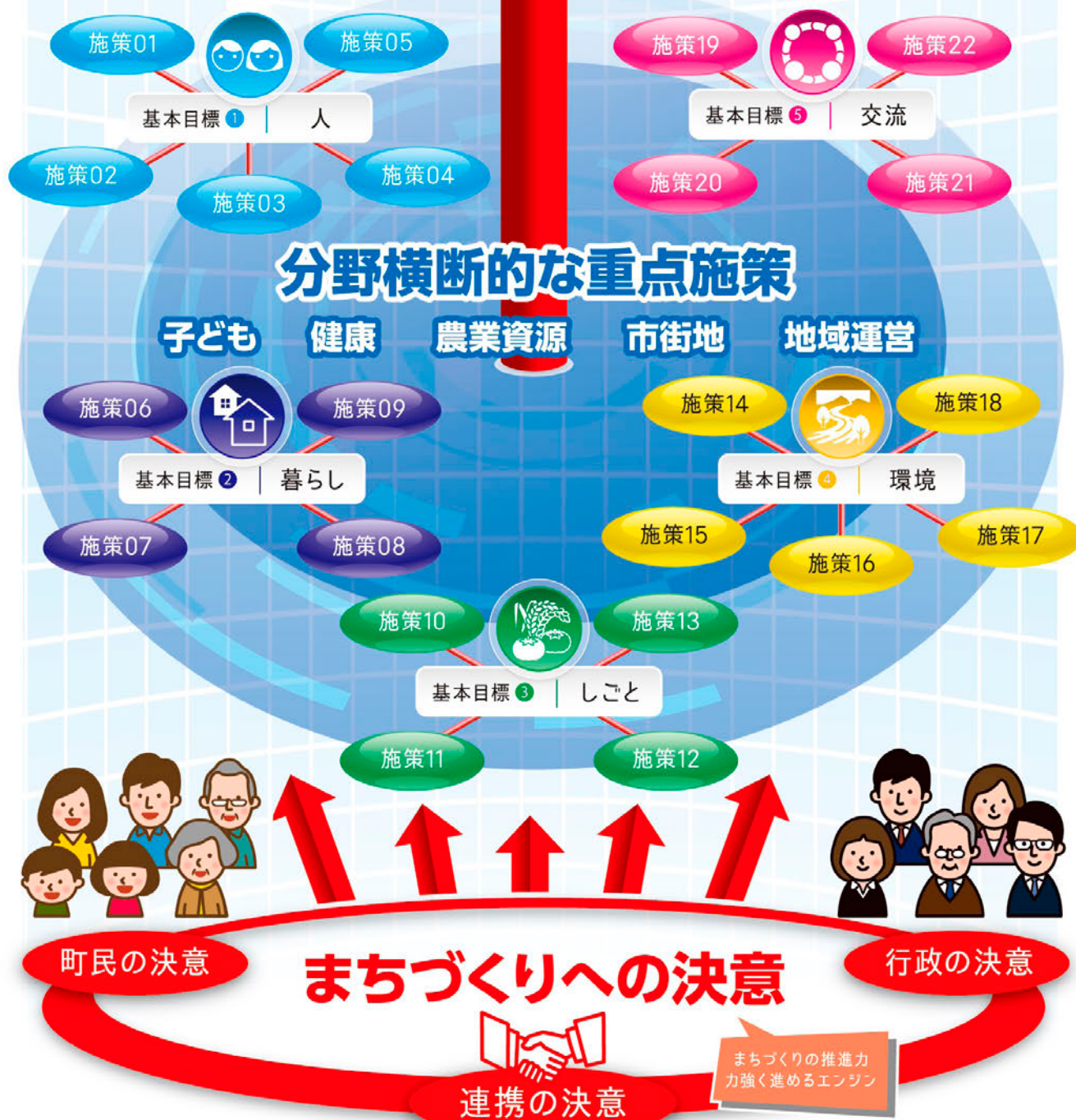
■参考：将来像達成に向けた施策展開イメージ

まちの将来像

笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす

まちの将来像を達成するためには、それぞれの分野のみで考えるのではなく、各施策が有機的につながり、相乗効果で「お互いに・全体として」高め合っていくことが大切です！

5つの基本目標・22の施策





分野横断的に取り組む 重点施策



まちの将来像を達成するために、特に分野横断的にテーマを持って取り組む重点施策として、次の5つの施策を推進します。基本計画の諸施策のなかから、関連する様々な取り組みを複合的に相互に関連性を持たせることで、より効果的な取り組みの推進を図ります。

- ▶①子どもに寄り添うまちづくり
- ▶②「健幸」のまちづくり
- ▶③農業資源を生かしたまちづくり
- ▶④市街地エリアの魅力づくり
- ▶⑤持続可能な地域形成

1

子どもに寄り添うまちづくり

子ども目線に寄り添い、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを地域が一体となって望み、実現するまちを目指します。

◆取り組み方針

すべての子どもが、心身ともに健やかに、地域や周囲とつながりを持って、自分らしく育つための取り組みを充実します。

- 子どもの権利が損なわれることのない地域環境の構築に努め、未来をたくましく生き抜くための基盤づくりとして、学力や体力、意欲の底上げを強化します。
- 子どもの自己肯定感や郷土心を育む活動を充実します。
- 子どもたちの運動機会を創出し、望ましい体力を身につけられるよう支援します。

	指 標	現 況	目標値
関連指標 と 目標値	自己肯定感の高い子どもの割合	73.7%	◇ 85%
	地域や社会をよくする活動に関心がある児童生徒の割合	76%	◇ 80%
	町内小中学生の総合型地域スポーツクラブへの加入割合	34%	◇ 50%

目標値：◇＝計画完了時数値、◆＝計画期間累計値

◆関連する施策

- 施策 01 地域ぐるみで魅力ある学校教育
- 施策 02 感性を育むふるさと共育
- 施策 03 いつまでも学び続けることが叶うまち
- 施策 04 誰もが気軽にスポーツに親しめる場の提供
- 施策 06 希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援

2

「健幸」のまちづくり

社会情勢の変化に対応した健康づくりの取り組みを推進し、あらゆるライフステージで切れ目なく、「健幸」※27を実感できるまちを目指します。

◆取り組み方針

住民個々の「ウェルビーイング※12」を実現するため、広く各分野の施策を連動して取り組みます。

- 「体の健康」「心の健康」「社会的役割や地域とのつながり」を、ライフステージごとにそれぞれ実現できる環境を切れ目なく構築するため、町の健康づくりに関する取り組みを分野横断的に整理して、町民に周知を進めます。
- 健康について学びを深め、取り組みのきっかけとなる講演や講座を、あらゆる世代が参加しやすい仕組みで開催します。
- 町民自身が身体の状態を知り、疾患の早期発見・治療、重症化予防のための行動・意識変容ができるよう健診や健診事後のフォロー体制の充実を進めます。
- 乳幼児期から成人・高齢期までの健診情報を活用することで各ライフステージの健康課題を明確化し、効果的な保健事業展開について調査研究を進めます。
- 事業が具体化されたインセンティブを付与する制度の継続など、特に働き世代をターゲットとした事業の強化を図ります。

	指 標	現 況	目標値
関連指標 と 目標値	特定健診受診率	55.6%	◇ 60%
	特定保健指導実施率	49.3%	◇ 60%
	健康ポイントプログラム参加者数	—	◆ 1,250 人

目標値：◇＝計画完了時数値、◆＝計画期間累計値

◆関連する施策

- 施策 03 いつまでも学び続けることが叶うまち
- 施策 04 誰もが気軽にスポーツに親しめる場の提供
- 施策 06 希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援
- 施策 07 一人ひとりが充実した暮らしを営むまち
- 施策 08 生涯元気に活躍できるまち
- 施策 09 みんなで主体的に取り組む健康づくり

【※ 27】「健康」に対して、人の幸せや笑顔を大切にしたいまちづくりを進めたいとの意を込めた造語。

3

農業資源を生かしたまちづくり

本町の農業資源を、食・観光・交流・教育など様々な分野で生かしていくことで、農業のまちとしての魅力を高めていくことを目指します。

◆取り組み方針

農業者と非農業者との交流と理解を促進し、互いに寄り添い支える関係づくりを推進します。

○町民が、町産の農産物を購入しやすい環境づくりを進めます。

○農業資源を生かして、グリーンツーリズムやワーキングホリデー、移住体験の受け入れなど、都市部住民との交流や関係づくりに努めます。

○子どもたちの農業体験教育の充実や、農福連携の推進による社会参画の促進を図ります。

○農業の人手不足とちょっと働きたい方のマッチングは、「あったかステーション」の活用を推進し、いろんな世代が農業に関わる機会を創出します。

	指 標	現 況	目標値
関連指標 と 目標値	農業や自然資源を生かした体験型観光実施箇所数	5 力所	◇ 12 力所
	地場産品を購入できる場の新設	—	◇ 3 力所
	あったかステーションによる雇用・就業者数（農業関連）	—	◆ 50 件

目標値：◇＝計画完了時数値、◆＝計画期間累計値

◆関連する施策

- 施策 02 感性を育むふるさと共育
- 施策 07 一人ひとりが充実した暮らしを営むまち
- 施策 10 未来へつなぐ明るい農業
- 施策 12 資源を生かした観光振興
- 施策 21 地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出

4

市街地エリアの魅力づくり

まちの中心部である鷹栖市街地の賑わいの創出と地域交流の活性化を図り、定住人口を呼び込むことで、子どもから子育て世代、高齢者まで、全世代が生きがいをもって安心して暮らせる町を持続的に実現することを目指します。

◆取り組み方針

子どもに関する視点をキーワードとして、多世代の交流促進や様々な領域の施策を一体的に進めることで、あらゆる世代が安心して過ごせる住民満足度の高い市街地を形成します。

○年少人口を呼び込むため、子育て世代のニーズに沿った住宅環境の充実を図ります。

○新たに整備する商業施設を核とし、商店街ににぎわいを生むため、起業や空き店舗活用などの取り組みを支援します。

○地域交流活動やサロン活動、施設の利活用などを推進し、多世代交流を促進するエリアづくりを進めます。

○地域共生社会^{※14}の推進に向けた福祉拠点を鷹栖市街地に設定し、あらゆる世代の希望が実現するまちを目指します。

	指 標	現 況	目標値
関連指標 と 目標値	鷹栖市街地の年少人口の割合	10.4%	◇10.5%
	鷹栖市街地での起業実績	—	◆3件
	鷹栖町に住みたい人の割合	79.9%	◇85%

目標値：◇＝計画完了時数値、◆＝計画期間累計値

◆関連する施策

- 施策 01 地域ぐるみで魅力ある学校教育
- 施策 02 感性を育むふるさと共育
- 施策 06 希望を叶えるあたたかな出産・子育て支援
- 施策 07 一人ひとりが充実した暮らしを営むまち
- 施策 08 生涯元気に活躍できるまち
- 施策 11 商工業の持続的な発展
- 施策 14 自然環境と都市機能が調和した魅力あるまちの形成
- 施策 21 地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出

5 持続可能な地域形成

地域運営組織を基盤とし、地域課題を住民の力で解決していく持続可能な地域形成支援を進めていきます。

◆取り組み方針

- 地域運営組織を中心とした協働のまちづくりを推進し、地域性と住民力を生かした課題解決を進めます。
- 地域運営組織と集落支援員が中心的な役割を担い、行政や関係機関との連携を強化した協働の地域づくりと課題解決を進めます。
 - 地域防災は住民のニーズも高まっており、地区への防災士配置推進を図るなど、住民力による防災体制の強化を進めます。
 - 次世代の地域づくりを担う人材の確保、育成に継続して取り組みます。
 - 地域づくりに関する知識や参画意欲を高めるための学びの機会を継続するとともに、まちづくりの様々な場面で住民が参画しやすい環境づくりに努めます。

	指 標	現 況	目標値
関連指標 と 目標値	地域運営組織で新たに事業化した課題解決の取り組み	—	◆5事業
	町民主体や協働で取り組む地域課題解決の新たな事業	—	◆10事業
	地域での災害対応訓練の実施数	—	◇5地区

目標値：◇＝計画完了時数値、◆＝計画期間累計値

◆関連する施策

- 施策 03 世代に応じて学び続けることが叶うまち
- 施策 07 一人ひとりが充実した暮らしを営むまち
- 施策 15 安全で安心なまちづくりの推進
- 施策 16 生活インフラの適正な整備と管理
- 施策 19 住民参加と連携によるまちづくり